

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

若者よ、技術を身に着け技術者になるう!



第38号

発行日 平成30年1月1日
編集発行 富士宮建設業協同組合
事業広報委員会
印刷 フジ印刷(株)

信頼 協調 誠実

新年のご挨拶



富士宮建設業協同組合
理事長
(株)小松建設
小松 實



新年明けましておめでとうございます。
組合員の皆様には、ご健勝にて新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

機械が考案されるでしょうか。期待
が胸がいつはばいす。

昨年、衆議院選挙では自民党が圧勝
しました。我々建設業にとりましては、
政治の安定が一番だと思います。少し
前になりますが、「コンクリートから
人へ」と言う時代がありました。もう、
あんな建設不況を味わいたくないとい
うのが、建設業全体の願いだと思っ
ます。現在は、再び自民党が政権を取
り戻したことに伴い、少しずつではあ
りますが、我々にとって良い流れが起
こり始めている気がいたします。

また、10月に商工会議所の視察研修
で、東京に行く機会がありました。
あちらこちらに建設用のタワーが立っ
ており、景気の良さを感じました。地
方にも、アベノミクスの好景気の波が、
広がってくることを期待し、またその
波に乗り遅れないようにしたいもので
す。

時代はどんどん変わって来ておりま
す。ロボットが受付で声を出して、「い
らっしゃい」ありがどうございます。
「と対応する様になりつつあります。
また、工事の着手及び竣工写真等を
ドローンで写すことはもちろんですが、
無人の重機施工や、ドローンによる測
量などが試行されております。まさに、
日進月歩で建設業界にも変化が起っ
ています。あと10年後、どんな技術や

若い労働者が少ないせいか、働く場
所が多くあるせいか、70歳前後まで
何ら変わりなく、元気で各現場等で
働いている方もおります。私達も、
いつまでも健康で働ける様頑張りた
いものです。

富士宮建設業協同組合は、市とパ
ートナー業務の契約をかわし、組合
員全員が同乗して、危険箇所の修正
に努めております。災害が起きた時、
真つ先に現場に入るのは私達建設業
者であります。重機等を駆使して、
長年培ってきた技術を発揮し、片付
等を行いながら、被災箇所を1分1
秒でも早く復旧する。ライフライン
を確保し、車輛等が通行出来る様に
すること、それが市民の信頼を得ら
れることであり、我々に求められて
いる使命ではないでしょうか。その
為には、行政との連携が必要です。
富士宮市とは、災害協定を結んでおり、
私達も、市民の皆様への期待に答えら
れる様、頑張つてまいりたいと思っ
ております。

私達組合員は、公共工事を受注す
る中、災害協定・清掃運動・道路清
掃・女性部のタオル寄付等、活動を
続けてきております。組合活動を通
じて、組合員である「信頼・協調・
誠実」のもと、より良い富士宮市の
実現と、市政発展の為に協力してい
かなければなりません。静岡県富士
山世界遺産センターも、昨年12月23
日にオープンいたしました。多くの
人が、富士宮市に来ることを期待し
ております。

これからも、組合員一同の強固な
団結が必要です。組合員の皆様にご
協力をお願いして、今年も良い年で
あります様、関係各位のご健勝とご
多幸をお祈り申し上げます。新年のご
挨拶いたします。

新年のご挨拶



富士宮市長 須藤 秀忠

新年あけましておめでとうございます。
平成30年の新春を心からお慶び申し
上げます。

富士宮建設業協同組合の皆様におか
れましては、日ごろから公共事業の円滑
な推進に多大なご協力をいただきにお
りますことに厚くお礼申し上げます。

昨年、大きな災害等もなく穏やかな
年を過ごせたことは、官民一体となった日
頃からの防災に対する危機管理と防災
対策の賜物であり、市長として心より敬
意と感謝を申し上げます。

さて、昨年は市制施行75周年の記念す
り。

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、決意も新たに、
健康やかに新年を迎えることと心からお
慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれ
ましては、日頃より公共事業の円滑な推
進をはじめ、災害時の緊急工事など、富士宮
市と市民の皆様へ多大なるご貢献をいた
だいており、深く敬意と感謝を申し上げま
す。

また、昨年の衆議院選挙では、皆様か
らの力強いご支援をいただき、引き続き国
会での職務を全うできることとなりまし
た。現在は衆議院災害対策特別委員長を拝
命し、委員長職務はもちろんのこと、日本
国と地元の様々な問題・課題に取り組ま
せていただいております。

富士宮市の木椅子のデザインは、世界に誇
る富士山そのものであります。市ではこ
れに合わせ富士山本宮浅間大社の周辺
及び各構成資産の整備保全並びに、中心
市街地の活性化、ホテル誘致などを着実
に進めているところであります。

さて、災害対策特別委員会について少し
ご紹介させていただきます。災害対策特別
委員会は、災害に関する諸問題を調査し、
その対策樹立を目的に設置された委員会
で、理事・委員を含め、現在40名の衆議院
議員にて構成されております。災害対策特
別委員会は、地震・津波対策をはじめ、地
球温暖化に伴う異常気象も扱い、九州北部
豪雨などの局地的豪雨対策なども審議致
します。環境大臣や、気象庁を担当する国
土交通大臣を経験した私が、委員長に適
任だと安倍総理が判断され、委員長職を拜
命することとなりました。災害対応に与
る党・野党の区別はなく、建設的な議論で防
災対策を推進し、安心・安全な国民生活を
守つてまいります。

建設業界の皆様には、様々な建物・道路
を建設し、人々の暮らしを支え、文明を築
き上げていただけてきました。その歴史は
古く、いつの時代にも、人類の暮らしと共
に住居や建物・道路が在り、それは現代社
会においてもかわらず、より一層顕著なも
のとなっております。住居や施設を次々に

建設していく建設業界は、現在の文明的な
生活を維持するのに、欠かせない存在であ
ります。
建設業界の現状をみますと、2020年
に迫った東京オリンピックに向けて、首都
圏を中心に多くの建物が建設されていま
す。また、リニアモーターカーの建設や、老
朽化したインフラの再整備など、建設需要
は更に増加する傾向がございます。加えて、
安倍政権下においては「国土強靱化」の推
進により、建設業の重要性が再認識され、
皆様の役割はますます重要になっていま
す。ところで、一方では若年入職者の減少や技能労働者の高
齢化により、深刻な人手不足となっている
現状は変わっておりません。加えて労務費や資
機材費・諸経費などの問題により、建設業
を取り巻く環境は依然として劇的な改善
には至っておりません。東北や東京を中心
とした関東圏の建設需要だけでは、富士
宮市をはじめ、地方都市における建設業
界全体の活性化が日本経済の土台であり、
業務に従事する皆様ひとりひとりの生活

あるまじき誇りを胸に、元気で活
気と賑わいのあるまちづくりをつくり
あげたいと気持ちを新たにしているこ
ろであります。
そして、魅力あふれる豊かで元氣なま
ちにするために、効率的な健全財政を意
識しながら、道路をはじめとする社会資
本の整備や公共施設の更新、長寿化な
ど、市民生活の向上や市の発展のため
に、必要な施策に積極的に取り組んでま
いらすので、組合員の皆さまには「世
界遺産のまち富士宮」の魅力のある元氣
なまちづくりのため、そして、市民の安
全・安心なまちづくりのために一層の
お力添えを賜りますようお願い申し上
げます。
結びに、富士宮建設業協同組合の益々
の発展と組合員の皆さまのご健勝と
ご多幸を祈念申し上げます。新年のご
挨拶といたします。

年頭のご挨拶

元環境大臣 衆議院議員 望月 義夫



さて、災害対策特別委員会について少し
ご紹介させていただきます。災害対策特別
委員会は、災害に関する諸問題を調査し、
その対策樹立を目的に設置された委員会
で、理事・委員を含め、現在40名の衆議院
議員にて構成されております。災害対策特
別委員会は、地震・津波対策をはじめ、地
球温暖化に伴う異常気象も扱い、九州北部
豪雨などの局地的豪雨対策なども審議致
します。環境大臣や、気象庁を担当する国
土交通大臣を経験した私が、委員長に適
任だと安倍総理が判断され、委員長職を拜
命することとなりました。災害対応に与
る党・野党の区別はなく、建設的な議論で防
災対策を推進し、安心・安全な国民生活を
守つてまいります。

また、昨年の衆議院選挙では、皆様か
らの力強いご支援をいただき、引き続き国
会での職務を全うできることとなりまし
た。現在は衆議院災害対策特別委員長を拝
命し、委員長職務はもちろんのこと、日本
国と地元の様々な問題・課題に取り組ま
せていただいております。

建設業界の皆様には、様々な建物・道路
を建設し、人々の暮らしを支え、文明を築
き上げていただけてきました。その歴史は
古く、いつの時代にも、人類の暮らしと共
に住居や建物・道路が在り、それは現代社
会においてもかわらず、より一層顕著なも
のとなっております。住居や施設を次々に

建設していく建設業界は、現在の文明的な
生活を維持するのに、欠かせない存在であ
ります。
建設業界の現状をみますと、2020年
に迫った東京オリンピックに向けて、首都
圏を中心に多くの建物が建設されていま
す。また、リニアモーターカーの建設や、老
朽化したインフラの再整備など、建設需要
は更に増加する傾向がございます。加えて、
安倍政権下においては「国土強靱化」の推
進により、建設業の重要性が再認識され、
皆様の役割はますます重要になっていま
す。ところで、一方では若年入職者の減少や技能労働者の高
齢化により、深刻な人手不足となっている
現状は変わっておりません。加えて労務費や資
機材費・諸経費などの問題により、建設業
を取り巻く環境は依然として劇的な改善
には至っておりません。東北や東京を中心
とした関東圏の建設需要だけでは、富士
宮市をはじめ、地方都市における建設業
界全体の活性化が日本経済の土台であり、
業務に従事する皆様ひとりひとりの生活

年頭のごあいさつ

富士宮市議会議長 横山 紘一郎



新年あけましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、決意も新たに清冽しい新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

皆様方には、市議会の活動及び市政各般にわたり、格別のご理解とご協力をいただき、とともに、社会基盤の整備や社会貢献活動などを通して地域社会の発展と市民福祉の向

上のために、大きな役割を果たしていただいております。ことに厚く感謝申し上げます。

昨年は、新学校給食センターの供用開始、新稲子川温泉ユートリオのリニューアルオープンや白糸自然公園遊具の完成、さらには待望の富士山世界遺産センターのオープンなど、富士宮市を代表する新しい顔とも言えるべき施設が完成するなど喜ばしいニュースが続きました。

今後、民間大社を中心とした中心市街地の整備などがさらに進み、活気にあふれるまちなかに発展していくことが期待されるのであります。また、その一方で、増加す

る富士山登山者や観光客をどのように受け入れおもてなしをしていくのか、ハード面の整備と合わせて、行政と市民が協力してまちづくりを進めていかなければならないと感じています。

市議会としましては、市民と行政をつなぐ存在として、その役割と責任をしっかりと果たしていくため、市民一人ひとりの意見や思いをしっかりと受け止め、その期待と信頼に応えるよう一丸となつて全力を尽くしてまいります。

さて、近年の庁舎や学校などの公共建築物、道路や橋などの長寿命化のための事業、そしてこれまでにない大型台風などによる自然災害の報道を見聞きするたびに、あらためて私たちの暮らしを守り支えているインフラとその整備

の大切さを強く実感しているところ。それゆえに、道路や河川をはじめとする公共事業とそれを担う地元の実情を熟知し建設業に従事する皆様の存在はますます重要性を増し、地域社会にとって不可欠な存在となつていきます。

新年のごあいさつ

静岡県議会議員 吉川 雄二



新年明けましておめでとうございます。2018年の新春を迎え、謹んでご挨拶申し上げます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、平素より県政に對しまして、ひとかたならぬご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、わが国では毎年のように大規模な自然災害が猛威をふるい、各地で甚大な被害が発生しております。そのたびに多くの尊い生命や貴重な財産が失われることは、誠に残念でなりません。台風の影

デフレ経済と建設投資の減少により安定的・持続的経営の至難が続いております。『社会貢献』と『持続性』をキーワードに富士宮の総合建設業者を代表する組合として、災害発生時には真っ先に被害現場に駆けつけ、応急復旧業務等に最優先に地域の安全・安心を守る責務を引き続きお願いする次第であります。

また、技術者・技能者の高齢化が進む中、建設業における将来にわたる担い手確保の問題は重要な課題の1つであります。少子高齢化、人口減少に伴う産業間の人材獲得競争が激化するなかで、女性や高齢者の雇用の増加が見込まれ、労働者の就業形態の多様化とともに職場環境が大きく変化しております。職場の安全衛生対策、労働災害防止対策の徹底が必須となり、夢をもつて将来を託せる産業とし

て建設業を再生し、その技術を継承発展させることを期待いたします。地域に密着し行政の重要なパートナーとして、信頼関係を何より大切にされている貴組合の皆様には、建設業界の発展と社会資本の整備のため、多大なご尽力をいただいておりますことに、深く敬意と感謝の意を表しますとともに引き続き、市民の皆様が安全で安心して暮らせる魅力あるまちづくりのため、更なるご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結び、今年の干支は戌年であり、一切の衆生を救い深い慈悲で導いていただける縁の良い年を含み、富士宮建設業協同組合の限らないご発展と、組合員の皆様のご健康、ご多幸を心から祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

静岡県議会議員 木内 満



新年明けましておめでとうございます。平成30年の新しい年の始まりを心よりお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の会員各位におかれましては、平素より円滑且つ正確で高品質な公共工事の推進はもとより、災害時の迅速な緊急工事や様々なボランティア活動へのご協力を通じて、安心して暮らせる富士宮市の実現に多大なるご貢献を頂いておりますことに、県政に携わるものとして、また1人の市民として心より感謝申し上げます。

昨年12月23日に、待望の富士山

世界遺産センターがオープンしました。すでに足をお運びいただきましたでしょうか。特徴的な逆円錐形のミニユニークの中には、スロープを登ることで擬似富士山体験が出来る映像展示を始め、256インチの超大型4Kディスプレイを備えた映像シアター、重要文化財や国宝も展示できる空調設備を備えた企画展示室など、静岡県が43億円の予算をかけた建設した日本随一の世界遺産センターとなりました。建物も建築のノーベル賞と言われるブリツカー賞を受賞した伴茂(ばんしげる)氏の設計が世界から注目を集めています。

「逆富士」の逆円錐の構造物は、富士山麓の「富士ヒノキ」を100%使用しており、まさに富士宮市から世界に発信できる施設です。今後数年の間にラグビースタジアム、ドーム、2019、2020東京オリンピックパラリンピックと大規模スポーツイベントが続きます。また、中部横断自動車道の全面開通などにより、富士山麓を取り巻く交通環境も大きく変わります。そして、富士山麓に大きな可能性を開く機会として、清水港の「国際旅客船拠点形成港湾」への指定があります。これはクルーズ船による訪日誘客の拠点化を目指すもので、数年で年間170回程度のクルーズ船の寄港を目指す一大プロジェクトです。クルーズ船の1回の寄港による経済効果は乗客数にもよりますが、数億円とも言われており、富士山麓への観光誘客による富士宮市への経済効果も期待できます。また、「そうだ、京都行こう」などのキャッチコピーで知られるJRの大型観光企画であ

るデザインেশョンキャンペーンが静岡県東部を対象に行われることとなり、プレキャンペーンが今年から始まります。ここ数年で静岡県東部の観光拠点化が加速してまいります。

新年のごあいさつ

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長 杉本 宏之



新年明けましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと心からお喜び申し上げます。また、日頃より国土交通行政の推進にあたり、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、7月に発生した九州北部豪雨では福岡県をはじめ九州各地で多くの土砂災害が発生し、甚大な被害に見舞われました。特に大量に流出した流木による被害が顕著でしたが、一部の砂防堰堤では流木を捕捉し効果を発揮していま

す。平成25年の伊豆大島の土砂災害等の流木被害等を踏まえて平成28年4月に流木対策の強化が打ち出されているところで、全国的に対策を一層推進していく方針です。

富士砂防事務所では、富士山の美しい姿を守るとともに、下流域の土砂災害を防ぐことを目的として、大沢川の源頭部対策や、扇状地対策、南西山麓の各溪流の対策を継続して実施しておりますが、流木対策についても着実に進めていくこととして

います。また、平成26年に御嶽山、27年に箱根山、昨年には新燃岳が噴火するなど日本各地で火山活動が活発になっています。火山噴火に伴う土砂災害は頻発には発生しないものの、一旦発生すれば社会的影響が非常に大きくなります。そのため、山麓住民等の生命・財産を守るとともに、

「ICIT砂防」についても取り組みを開始いたしました。急峻な山間地での工事は、危険な測量作業を伴い作業日数を要する場合があります。現場に合わせたUAV等を活用し、安全性や生産性の向上を図るため、新たな取り組みを進めてまいります。

災害に強い地域を作るためには、砂防堰堤の整備等のハード対策だけでなく、災害発生時の防災対応力を維持・強化していく必要があります。その大きな役割を担っているのが建設業に携わる皆様方であると思っております。「地域の守り手」である建設業を持続的に魅力ある産業とするため、今後も皆様と連携して災害に強い地域づくりを進めて参りたいと考えております。結び、貴協同組合のますますのご発展と会員の皆様のご健康ご活躍を心より祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

静岡県富士土木事務所長 大石 俊一



新年明けましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

また、日頃より県の建設行政をはじめ、災害時対応等についてご理解、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

近年、建設業界は、経済活動の基盤となる社会資本整備をはじめ、切迫する巨大地震、激甚化する異常気象災害への安全・安心の確保、豊かな暮らしを未来につなげる環境の

保全と創造など、その果たすべき役割の重要性が増しています。

そこで、当事務所では、世界文化遺産に登録された富士山の豊かな自然環境のもと、富国徳の理想郷を目指して、「安全で安心な暮らしの実現」、「人との交流促進による地域活力の向上と地域の一層の発展」のため、景観に配慮した道路・河川整備、自然と人間が共生する魅力ある地域の実現に向けたハード・ソフト両面の社会資本整備を進めるとともに、高度経済成長期以降大量に建設された公共土木施設の老朽化対策として、具体的な中長期の補修計画である「中長期管理計画」に基づき、施設の長寿命化対策を加速させています。

さらに、最近では、建設業界への若年入職者の減少による担い手不足が深刻な問題となっており、業界が抱える「担い手の確保・育成」といった喫緊の課題に対し、若者が安心して誇りを持って働ける職場が拡大できるよう、現場の「生産性」、「安全性」を高める新技術・新工法の活用、維持管理のトータルコストの軽減・平準化や建設作業の省力化・効率化を図るICT技術の活用などの新たな取組を積極的に支援しています。

これからの社会資本の整備には、建設に携わる全ての者が、将来のあるべき姿を共有し、いつまで何をすべきかなど進むべき方向を見据え、現在すべきことを着実に履行することが必要であると考えます。今後とも、皆様には、

新年のごあいさつ

富士宮市都市整備部長 望月 明彦



新年明けましておめでとう
ございます。富士宮建設業協同組合の皆様には、ご健勝にて新年を迎えられました事を心よりお喜び申し上げます。

また、平素より富士宮市の道路、河川、建築物等の公共事業や災害時対応等に多大なるご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、平成29年は7月の九州北部豪雨や9月の台風18号により九州地方で甚大な被害が発生しましたが、当市においては大きな災害もなく比較的平穏な1年を送ることができ

き、これからも安らかな日々が続くことを願っています。しかし、いつ発生するかわからない地震や台風等の自然災害のことを考えると、インフラ整備はまだ脆弱な状況であり、多くの公共事業の必要性を感じております。近年は高齢化による社会保障費や少子化対策費に多くの予算が割り当てられていることから、公共事業に係る財政状況は大変厳しい状況となっておりますが、市民が安心して暮らすために必要な事業は、着実に実施していきたいと考えております。

また、昨年12月23日に静岡県富士山世界遺産センターがオープンしたことにより、富士宮市への観光客の増加が期待されますが、世界遺産センターから浅間大社への参道軸

の整備はまだまだの状況です。引き続き推進していきたいと考えております。

今年、主要な事業として、社会資本整備総合交付金事業の2級市道平山見返線改良事業や岳南北部地区幹線道路事業、大雨対策としての弓沢川右岸4号幹線(国道139号横断)事業、市営万野住宅B棟建設工事、市立病院増築工事を予定しております。

新年のごあいさつ

富士宮市水道部長 斉藤 智敏



新年あけましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より富士宮市の行政にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

結びに、富士宮建設業協同組合の益々のご発展と皆様のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

の整備はまだまだの状況です。引き続き推進していきたいと考えております。

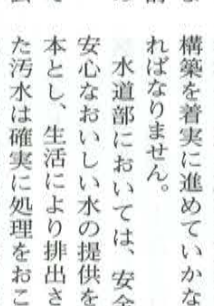
また、平成29年度から本格的に着手した建築物長寿命化対策事業、橋梁長寿命化修繕計画事業は厳しい財政状況が続いている中ではありますが、市民の安全安心を確保するためには必要不可欠な事業でありますので、着実に実施してまいります。

当市においてもこれからも実施しなければならぬ必要

ら、料金収入の減少が見込まれることを想定しながらも、老朽化が進む施設の更新や再構築を着実に進めていかなければなりません。

新年のごあいさつ

富士宮建設業協同組合の益々のご発展と皆様のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年あけましておめでとう
ございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

また、平素より富士宮市の行政にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

結びに、富士宮建設業協同組合の益々のご発展と皆様のご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のごあいさつ

静岡県富士農林事務所長 田島 章次



新年おめでとうございませう。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新春を迎えられたことを心からお慶び申し上げます。また、平素より本県の農林行政に対しまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、貴組合の皆様に関連する富士農林事務所の業務として、農地部門と森林・林業部門があります。

農地部門では、美しく品格のある農山村の創造に向けて「ふじのくに」の農山村づく

り」を推進するため、各種の農業農村整備事業を計画的かつ効率的に施行しております。

集落基盤整備事業「朝霧高原地区」では、富士丘陵、猪之頭等農道等の農業生産基盤と営農飲雑用水施設や集落道等の生活環境基盤の整備を実施するほか、畑地帯総合整備事業「富士根南地区」では、杉田において農道及び畑地かんがい施設の整備を実施しております。また、農道保全事業「西山地区」等により幹線農道の舗装工事を実施しております。

さらに、これらのハード事業による効率的・安定的な農業構造の確立と併せて、農村地域の過疎化・高齢化が進む中、農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮には、環境の適切な保全管理と質的

な向上が必要であり、地域における積極的な取組が不可欠であります。当所では、富士山の豊かな生態系を育む環境を守り、魅力ある農山村づく

り」のため、「ふじのくに美農里(みのり)プロジェクト」や「二社一村しずおか運動」など、農業者・住民・企業が一体となって地域を活性化させる取組を今後も支援してまいりますので、皆様におかれましては、これまで以上のご協力をお願いいたします。

森林・林業部門では、世界遺産富士山にふさわしい森林を後世に引き継ぐため、森林の整備・保全と森林資源の循環利用に取り組みしております。昨年12月に開館した静岡県富士山世界遺産センターは、逆さ富士を模した木格子に、富士ヒノキが採

用され、県内外から注目を集めています。このため、「FUJI HINOKI MADE」ブランドを核として、富士ヒノキの販路拡大を加速してまいります。また、森林の整備・保全や木材生産に必要な基盤整備として、引き続き、林道「天子ヶ岳線」の開通を着実に進めてまいります。

さらに、上流森林の水源地機能を強化するため、治山事業による荒廃渓流の復旧や森林づくり県民税による荒廃森林の再生にも積極的に取り組んでまいります。森林の整備や木材生産の事業量は年々増加しており、森林組合等の林業事業体と建設業の皆様との連携による効果的な事業展開が期待されていることから、皆様の積極的な参入をお待ちしております。

結びに、富士宮建設業協同組合の益々のご発展を心よりお祈りし、新年の挨拶とさせていただきます。

昨年、7月に九州北部で発生した豪雨により、道路や河川に大きな被害が発生しました。8月には東京や仙台で、



新年のごあいさつ

土木・舗装委員会 委員長 佐野藤建設(株)



当富士宮建設業協同組合は、前身であります富士宮市建設業協会として、泉町に昭和25年頃に設立し、それを礎に、組合を作り移転する計画を立て始め、昭和48年5月に佐野藤建設(株)の当時の社長佐野藤作氏がバイパス沿線に将来を見込んで用地買収し、昭和48年8月に45社で創立しました。昭和61年頃の最盛期には61社ありましたが、今は27社までに激減し、建設業として色々な変化変動がありました。振り返ってみると、ピーク時、生コン会社3社あったのが1社となり、建設産業が国全体から見ると約半分になりました。しかし近年、

災害が起きた時に、特に技術者(大工・鉄工・とび・石工)等はあまりにも少なくなり、被災地を復旧するのは容易ではありませんが、今後、災害が起きた時には、このような状態では復旧維持、防災事業は進まないと思います。さらに、政治は近年、政党が数回入れ替わりましたが皮肉にもその都度、大災害が起き、その時、「コンクリートから人へ」、八ツ場ダムが中止となった事もあり、東名高速道路については、3車線を2車線にし、大変な無駄がありました。その中で建設業は非常に窮地に立たされました。反面、発展途上国では莫大な規模の車が走り、文化生活を行い、その結果、インフラの整備を進め、高速道路、又新幹線等が必要になってきました。今、八ツ場ダムの必要性が改めて認識

され、工事も再開されましたが、我が国において、防災、高速道路、及び新幹線等、その重要性は図りしれないです。



記念写真を撮っていました。私が、私は撮らず、2階に上がり、建物を見学した所、多数写真が掲載されていきました。それは「大工、石工、左官工、鍛冶屋」等技術者に賞を与えた時の物でした。それがノーベル賞の始まりであるという事を皆さんはまったく知りません。改めて「ノーベル」の偉大さに尊敬しました。ちなみに、世界遺産になった姫路城を建てた黒田重隆・職隆親子等の大工は、苗字帯刀を許され、旗本・大名になった者もいました。日本では、すでに何百年も前に、このような事を行っていました。日本は、技術大国、物作り国家として有数の国であります。これも職人の方々のお陰です。この度、中国では、AIロボットが医師国家試験に合格したという事です。それは飽くまでもペーパーテスト、机上の事であり、それを扱うには「技能技術者」しかできません。

(*猫とネズミの物語)
国土交通省では、平成29年11月上旬に建設業法施工規則改正のための省令を施行し、登録基幹技能者を、建設業法の主任技術者の要件として正式に認定して頂く事になり、私は心よりお礼申し上げます。技能技術者にして頂ければ、もっと嬉しかったです。資格というものは色々ありますが、往々にして学歴社会では、キャリア(Career)という英語(言葉)がありますが、私の判断では「経験」として理解して行きました。それから、辞書をよく調べてみると、最初は「経歴・上級試験」に受かったものを称して行きました。最終的には「経験」がメインであり、このように辞書で翻訳も変化されています。私が判断して使っていた事は間違っていました。辞書は古い物から新しい物を参照すれば、証明できます。登録基幹技能者(技術者)

時、原子力発電に頼ること、それは「ノーベル賞」の最初の賞に値します。一般的に名門大学を出た人が優秀だという傾向がありますが、そうではありませぬ。今では、ホワイトカラーから技術者の時代になりました。今まで教科書に書いてない事を考え、発明する人が頭がいい人なのです。その賞は「ノーベル賞」です。それから、京都議定書がパリ協定に変化しましたが、今、日本は皮肉にも世界で公害が増えた国であり、矛盾していますが、政府は国内にお金を使うより、CO2の削減を図る開発途上国に1兆3千億円の資金援助をしたのは、CO2削減にはもつと効果的だからです。しかし、地球温暖化を防ぐ為には日本としては不足です。なぜならば、世界の技術があるからです。平成29年10月19日の「週刊新潮」に柏崎原発についての記事がありますが、地球環境を守る為には一

に「液化化現象」の対策については、石原都知事に送っており、今回も、小池都知事にメールを送りましたが、水中ポンプで地下水を5~6m吸い上げる事によって、「液化化現象」を食い止めます。また、自動車産業は、電気自動車に変化しつつありますが、ガソリンがなくても、電気がなければ走りませぬ。電気が発電所がなければなりません。賛否両論ありますが、民主主義は多数決で採決を下します。(時は待ってください)

今まで、私は色々な経験と実感を踏まえた結果、「化学・物理・生命」とは、温度を得ています。私も70歳になりましたが、今後、農業を無くし、自然環境を守ることがいかに重要か、又、可能を実証できます。宮沢賢次の「雨にも負けず」の最後の言葉、「そういうものに私はなりたくない。」を志したい。

話が変わりますが、スウェーデンのストックホルムでは、毎年、世界最高峰のノーベル賞の授賞式が行われています。幸い私はその受賞会場に行き、視察することができました。会場では皆さんは

28年の対前年度比はマイナス2・81%と、昨年は減少率全国1位となつてしまつた訳だが、平成29年3月末も3・31%減と加速度的に数を減らして、来年度も業者数が減少する年回りとなるので、この傾向は続くのか?

図1-1と図1-2は縦軸マス目の単位は違えども、比率は同じで作成してある。グラフの角度を見比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
このグラフは業者数の、都道府県別ピーク時対減少率のデータを図表化したものだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急角で業者数が増え、平成22年にはピーク時対減少率で全国1位、言い方を換えれば全国一建設業者がつかぬくらい減り、その後、その傾向は平成26年まで続いたのだが、平成27年で潮目が変わつた。その後、加速度的に減少率は増え続け、平成29年には全国平均に限りなく近づいた。極端な傾向と成つてい

る都道府県として、グラフの最上段に位置している群馬県は、全国一業者数が減少しており、一番多かつた時に比べて33%減と、3分の2まで減つてしまつた。

逆にグラフ最下段の宮城県は、平成23年の東日本大震災以後、業者数が減るどころか増えており、ピーク対比でマイナス4・8%まで回復している。もちろん減少率の低さで全国1位である。

大阪府は減少のスピードが速く、平成20年頃までその傾向が続いたのだが、現在はそのスピードは衰

新年のごあいさつ

建築安全委員会 委員長 (株)三尾建設



新年明けましておめでとうございます。ほぼ恒例と成りつつ有りますが、最新の統計資料に基づいた統計分析を、新年のご挨拶に代えさせて頂きます。

図1-1の説明
建設業許可業者数が一番多かった平成12年3月

末以降、建設業許可業者数(以下単に業者数)は、ほぼ一定の割合で減り続けており、全国の許可業者数は昨年も対前年度比で0・47%減となった。

図1-2の説明
静岡県内では平成25年3月末から平成26年に11社増えただけで、本来増える年回りであるはずの平成27年に業者数を減らしてしまつた。「表1-2」平成

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-1の説明
建設業許可業者数が一番多かった平成12年3月

図1-2の説明
静岡県内では平成25年3月末から平成26年に11社増えただけで、本来増える年回りであるはずの平成27年に業者数を減らしてしまつた。「表1-2」平成

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

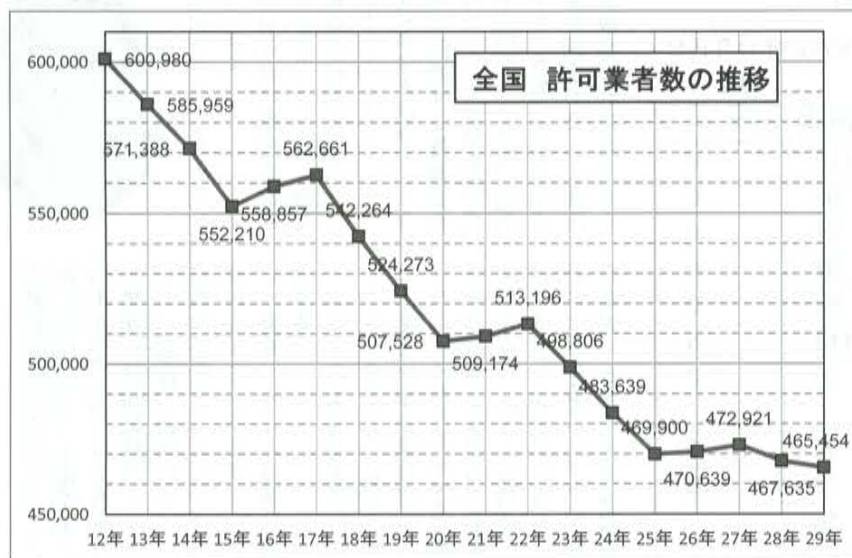
図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて

図1-3の説明
この表は業者数の減少率を他の都道府県と比べてもらいたいのだが、過去、静岡県の減少角度は全国平均より緩やかで、増加角度は全国平均より急角であったものが、平成26年を境に傾向が変わつて



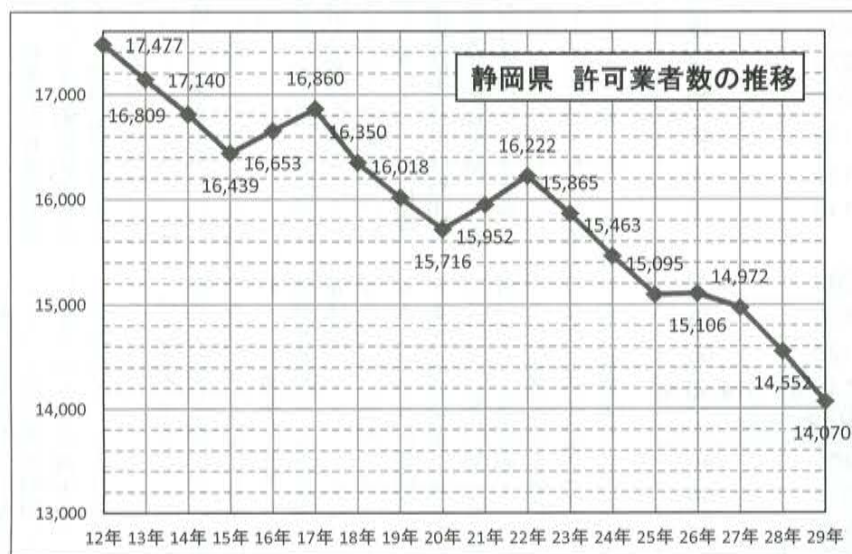
(図-1) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) 全国



(表-1) 業者数最大時との対比 全国

年	業者数	前年比	
		一業者数最大値	最大比
平成12年	600,980		
平成13年	585,959	-2.50%	期間内 -2.50%
平成14年	571,388	-2.49%	平均値 -4.92%
平成15年	552,210	-3.36%	-2.78% -8.12%
平成16年	558,857	1.20%	0.94% -7.01%
平成17年	562,661	0.68%	-9.77%
平成18年	542,264	-3.63%	-12.76%
平成19年	524,273	-3.32%	-15.55%
平成20年	507,528	-3.19%	-3.38%
平成21年	509,174	0.32%	-15.28%
平成22年	513,196	0.79%	0.56% -14.61%
平成23年	498,806	-2.80%	-17.00%
平成24年	483,639	-3.04%	-19.52%
平成25年	469,900	-2.84%	-2.90% -21.81%
平成26年	470,639	0.16%	-21.69%
平成27年	472,921	0.48%	0.32% -21.31%
平成28年	467,635	-1.12%	-22.19%
平成29年	465,454	-0.47%	-0.79% -22.55%

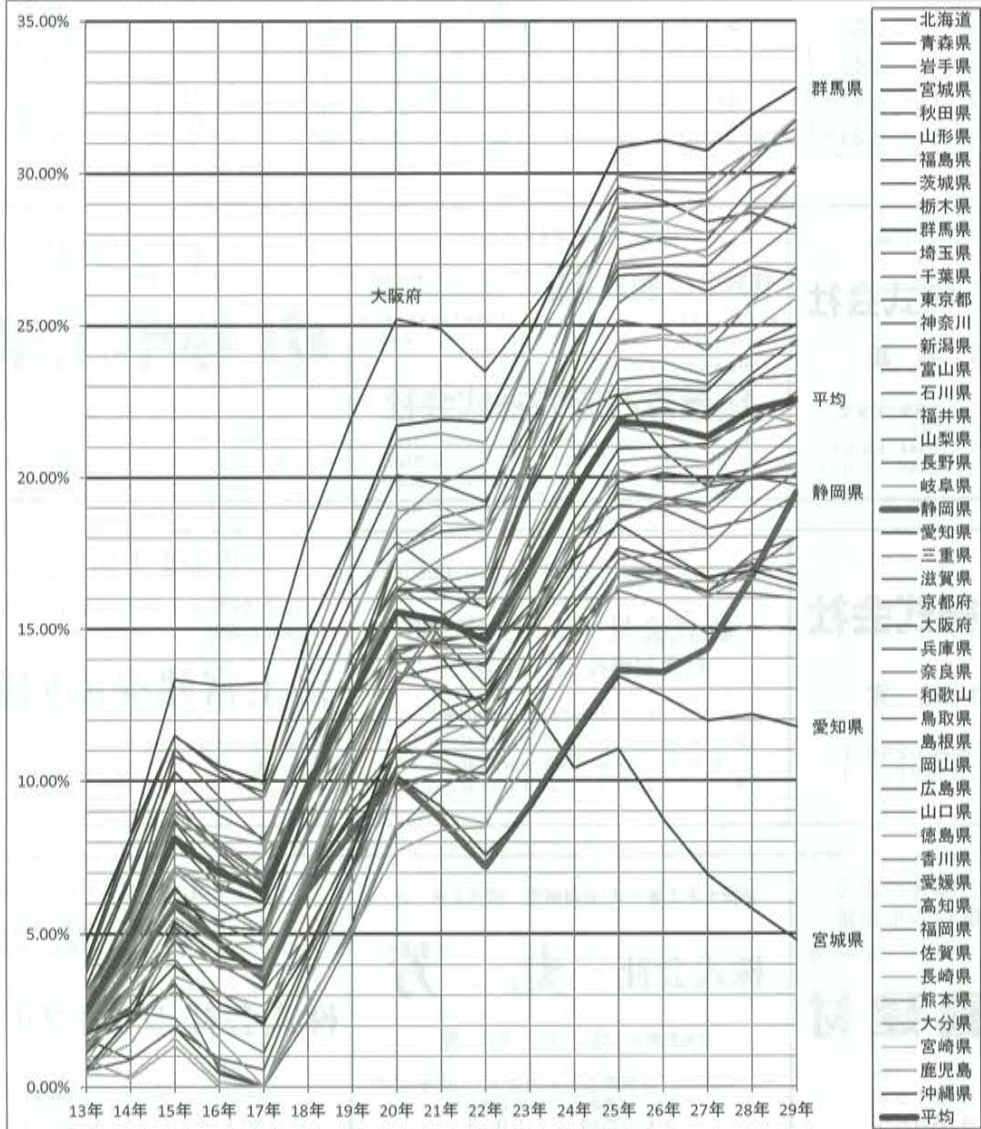
(図-2) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) 静岡県



(表-2) 業者数最大時との対比 静岡県

年	業者数	前年比	
		一業者数最大値	最大比
平成12年	17,477		
平成13年	17,140	-1.93%	期間内 -1.93%
平成14年	16,809	-1.93%	平均値 -3.82%
平成15年	16,439	-2.20%	-2.02% -5.94%
平成16年	16,653	1.30%	1.27% -4.71%
平成17年	16,860	1.24%	-3.53%
平成18年	16,350	-3.02%	-6.45%
平成19年	16,018	-2.03%	-8.35%
平成20年	15,716	-1.89%	-2.31% -10.08%
平成21年	15,952	1.50%	-8.73%
平成22年	16,222	1.69%	1.60% -7.18%
平成23年	15,865	-2.20%	-9.22%
平成24年	15,463	-2.53%	-11.52%
平成25年	15,095	-2.38%	-2.37% -13.63%
平成26年	15,106	0.07%	-13.57%
平成27年	14,972	-0.89%	-0.41% -14.33%
平成28年	14,552	-2.81%	-16.74%
平成29年	14,070	-3.31%	-3.06% -19.49%

(図-3) 都道府県別 業者数ピーク時対比の年度別減少率の推移



(表-3) 都道府県別建設業許可業者数と対前年度比

都道府県	平成29年		順位	対前年比	順位
	3月末の業者数	順位			
北海道	19,556	7		-0.95%	19
青森県	5,640	25		-0.74%	23
岩手県	4,295	38		0.19%	38
宮城県	8,104	17		1.09%	47
秋田県	3,931	41		-2.12%	2
山形県	4,702	34		-0.95%	21
福島県	8,984	15		-0.14%	35
茨城県	12,049	11		-0.68%	24
栃木県	7,306	20		-1.50%	8
群馬県	7,389	19		-1.32%	14
埼玉県	23,130	5		0.33%	39
千葉県	18,107	9		0.11%	37
東京都	42,770	1		-1.18%	17
神奈川県	27,128	3		0.46%	41
新潟県	10,076	14		-1.33%	13
富山県	5,147	30		-1.46%	9
石川県	5,453	28		-0.51%	27
福井県	3,958	39		-1.44%	10
山梨県	3,509	42		-1.29%	15
長野県	7,681	18		-1.95%	5
岐阜県	8,527	16		-0.21%	33
静岡県	14,070	10		-3.31%	1
愛知県	25,621	4		0.46%	42
三重県	7,285	21		-0.49%	28
滋賀県	5,358	29		-0.65%	25
京都府	11,238	13		-0.94%	22
大阪府	36,959	2		0.74%	46
兵庫県	18,733	8		0.36%	40
奈良県	4,805	32		-1.05%	18
和歌山県	4,655	35		-0.60%	26
鳥取県	2,080	47		-1.56%	7
島根県	2,828	46		-1.39%	12
岡山県	7,013	22		-0.07%	36
広島県	11,603	12		-0.15%	34
山口県	5,931	24		-1.80%	6
徳島県	3,141	44		-2.09%	3
香川県	3,945	40		-0.35%	30
愛媛県	5,600	26		-0.44%	29
高知県	2,912	45		-0.95%	20
福岡県	20,516	6		-0.30%	31
佐賀県	3,146	43		-1.44%	11
長崎県	4,897	31		-1.19%	16
熊本県	6,517	23		0.59%	45
大分県	4,508	36		0.47%	43
宮崎県	4,396	37		-1.98%	4
鹿児島県	5,543	27		-0.25%	32
沖縄県	4,712	33		0.53%	44
合計	465,454	平均		-0.47%	

新設住宅着工戸数 富士・富士宮7ヶ年統計

(各年度4月1日～3月31日)

平成29年11月15日

(単位：戸)

Table with columns for location (Fuji City, Fuji City), total units, owner-occupied, rental, and various averages from 2015 to 2018.



新年のごあいさつ

総務金融委員会 副委員長 河原崎建設 河原崎利光

新年明けましておめでと... 組合員並びに関係各位の皆様に...

と政府の発表がありました... 不正検査、データ改ざんが...

であり、技術者の育成は急務... 建設業界は元請から下請、孫請へと...

では、持ち家が伸び悩む中、分譲住宅(販売住宅)が増加... 富士市では販売住宅に加え...

が、まだまだ地方には実感が乏しいように感じます... 平成31年10月、消費税10%の増税が控えています...

AI 三井住友海上 HGA 代理店 有限会社 エージェントうさみ

日本工業規格表示認証工場 エーユー生コン株式会社 代表取締役 加藤 英雄

県民の生命・財産を石材で守る 株式会社 後藤 代表 TEL (0544) 66-0165

日本工業規格認証取得工場 コンクリート用砕石及び砕砂 静甲工業(株)

太陽建機レンタル株式会社 富士宮支店 静岡県富士宮市西小泉町 23-1

田口建材株式会社 代表取締役 田口 敏寛 事務所 静岡県富士宮市村山 269-1

株式会社 富士 宇部 代表取締役 杉村 禎一 〒421-3304 静岡県富士市木島 258 番地

◎資源を大切にしよう 建設廃材中間処分(県)認可第2221002450号 再生砕石販売 富士宮建廃協同組合

子供の頃のような、あふれる想像力で... あなたのこころをカタチに MIND CREATION~こころをカタチに 前田道路株式会社 富士合材工場

重機土木工事一式・各種骨材販売 解体工事・建設廃材収集運搬 静岡県(般)―63―第23160号 (県)第9201045463号 株式会社 丸喜建材

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式 株式会社 丸 芳 代表取締役 佐野 裕亮 〒418-0047 静岡県富士宮市青木 1186 番地の 1

人と環境にやさしいものづくり 各種アスファルト合材製造・販売 常温合材 アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理 株式会社 リサイクル芝川

市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様
富士宮市議会議員 横山紘一郎様

要望書

拝啓

日頃より、富士宮市政発展のためへの多大なるご尽力に対し、敬意を表しますとともに、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜わり、また公共事業関係予算の確保につきましても、平素よりご尽力いただいていることに対し、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、我が国は、アベノミクスの取り組みの下、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復基調が続いているものの、日本の経済を取り巻く海外情勢や金融資本市場の動向は不確実性が増しており、依然不安材料を抱えている状況にあります。

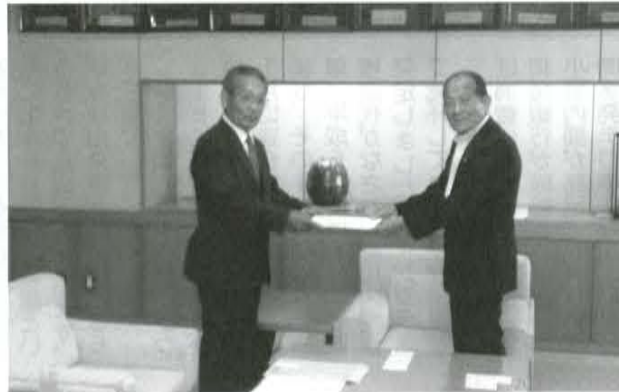
こうしたなか、我々建設業界においても、建設投資の長期減少傾向に一定の歯止めが掛かった一方で、オリンピック関連事業などにより比較的大きな需要が見込まれている東北地方や中央首都圏と、公共工事が減少している多くの地方地域との格差の広がりや如実に顕在化しており、地域建設業は依然として先行きが不透明な状況にあります。

富士宮市におかれましては、本年6月1日には市制施行75周年を迎え市民文化祭をはじめとした各種イベントも実施されています。そして平成25年6月富士山が世界遺産に登録されて4年、待望の世界遺産センターが12月には開館します。富士山の情報発信基地として国内外からの来訪者の増加により、益々活性化することが期待され、さらに富士宮市が世界に誇れる品格のある文化都市として大きな飛躍を遂げていくことは全市民の願いでございます。

当組合は、地域建設工事の最前線に従事する組織であり、社会にとっても企業にとってもなくてはならない存在であることを強く自覚し、誇りと自信を持って業務に臨むことが大変重要と考えています。「信頼・協調・誠実」の組合訓のもと、組合員の技術の研鑽に励みながら邁進し、これまで以上に市や県など関係機関の皆様と連携し、社会基盤の整備と維持、災害時における地域の守り手として、更に富士宮市が目指す将来都市像「富士山の恵みを活かした、元気に輝く国際文化都市」の実現に向けて、組合員が一丸となり技術力の維持・向上と経営基盤の強化に努めてまいります。

そのためにも、組合未加入者に対し本組合への加入のご指導等をくださるよう、また、組合員の育成強化に更なるお力添えを賜りたく、下記事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

敬具



理事長、副理事長は、9月11日(月)、市役所を訪ね、公共工事の早期発注と平準化、失格基準価格と最低制限価格設定の見直し、工事の難易度・重要度に合わせた総合評価値による指名競争入札など3項目についての要望書を、須藤市長及び横山市議会議員に提出いたしました。

10月13日(金)、市役所契約管理課長、工事検査課長、契約係長、検査係長が来館し、組合理事長、副理事長に対し、要望書の回答内容を説明していただき、同時に、意見交換をおこないました。

記

要望事項1

昨年も要望させていただきましたが、建設工事の早期発注及び平準化について要望いたします。

例年、工事の発注が上半期は少なく、年度後半に集中していますが、平成26年6月改正品確法により、現在及び将来の公共工事の品質確保とその担い手の中長期的な育成・確保を図るため、発注者は債務負担行為の積極的な活用などにより発注・施工時期等の平準化に努めることは、発注者の責務とされています。

適切な工事原価・工期設定による施工時期の平準化により、年間を通じた工事量が安定することで、人材・機材の実働日数の向上等が図られ、生産性も高められます。

発注時期・納期・施工時期の平準化を図って頂くため、早期積算・適切な繰越しの活用等により年間の切れ目のない発注(件数)と余裕工期の設定による計画的な執行について、要望いたします。

要望事項2

市の平均落札価格は、これまでの制度見直しにより改善の兆しが見えては来ましたが、いまだに厳しい経営状態は続いています。そこで、これからの市内建設業界の将来を見据えますと、安定的な経営の維持に必要な利益を確保し、若年層の入職を促進するためにも、全ての案件の落札率が90パーセント以上になることが、本来の姿であると考えざるを得ません。

現在、建設工事における予定価格が5,000万円以上の工事並びに、総合評価競争入札における失格基準価格は予定価格の67%~70%になっており、この価格では、健全な企業経営・労働環境の

維持や技術の伝承が困難な上に、若手技術者の減少による有事の対応が懸念される厳しい状況となっているため、失格基準価格を予定価格の80%以上になるように引上げをお願いいたします。

また、最低制限価格の設定につきましても、現在調査基準価格に0.96の係数を乗じていますが、この係数を廃止した最低制限価格の設定を要望いたします。

要望事項3

現在、土木Aランクの総合評価値は最低が729点、最高は1,006点で36業社であります。予定価格が5,000万円を超える大型工事におきましては技術的管理、下請業者を含めた人的配置、安全管理等高度な現場管理が求められます。

また、地元の対応においても企業の信頼性が強く求められます。そこで、工事発注時の入札資格に関しまして、工事の難易度・重要度に合わせ、受注者の企業規模、経営状況及び技術能力等が高く評価されている、総合評価値800点以上による指名競争入札を要望いたします。

平成29年9月11日

富士宮建設業協同組合
理事長 小松 實



代表取締役 渡邊 智司

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1853-16
TEL (0544) 24-5123・FAX (0544) 23-3715
<http://www.pro-watanabe.co.jp>

女性部活動



会長 小松建設
小松みさを

平成30年の幕開けを心からお慶び申し上げます。常日頃から女性部会のさまざまな活動におきましては、組合員の皆様にご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

新年早々に次年の事をお話しすると、鬼に笑われるかもしれませんが、来年の5月には新しい時代が幕を開けることになりました。昨年12月1日、25年ぶりに開かれた皇室会議を経て、12月8日の閣議決定により、天皇陛下が退位される日が平成31年4月30日とされました。天皇陛下のご退位は、1817年の光格天皇以来、約200年ぶりで、現行憲法下では初めての事だということです。退位日が正式決定されたこと、政府は退位と即位の儀式の準備に入り、菅官房長官をトップとする検討組織を設置し、退位の儀式を「国事行為」として位置付け、退位日の4月30日に皇居内で行う方向です。平成時代はあと1年4ヶ月で終わり、新元号が発表され新しい時代が始まります。「平成」が決まった時の最終候補には「修文」「正化」があったようですが、サ行で始まるため敬遠されたようです。年号をアルファベットで略すとSになり昭和とかぶってしまうからです。そのことから、新元号は「平成」・「サ行(昭和)・タ行(大正)・マ行(明治)」の20文字から始まるものは無いであろうと予測さ

れます。今年の夏あたりには、来年のカレンダー(5月1日が休日になるかどうかで、10連休になる可能性も)諸々の印刷に絡み様々な発表がなされるのではと、期待に胸を膨らませております。

残り16ヶ月となり、終演までの最後の盛り上がり日本国民として演じられますように、平成時代をふり返ってみました。皆様も、昭和から平成になった時のことを思い浮かべて下さい。昭和64年1月7日、次の日からは平成1年1月8日となりました。故小淵官房長官が「平成」の額を掲げている姿がテレビに何度も映し出されました。そのため子供からは平成のオジさんと呼ばれたりしたものでした。ちなみに、昭和64年の貴重な1週間の間に誕生された方は概算24,000人位いらっしゃるようです。(年間出生人数1,246,802人を7日間に単純計算)有名な方では、体操で数々の記録を打ち立てた内村航平さん(昭和64年1月3日生まれ)がおります。

当時は昭和天皇がご崩御されたことから、すべてにおいて自粛ムード一色でした。派手なことは慎み要に服す、そんな意味合いから新年互礼会の中止や縮小、盛大な祝い事などは取り止めや延期が余儀なくされました。消費税が導入されたのも平成元年でした。また、天安門事件、リクルート事件、ベルリンの壁崩壊、当時の総理の女性問題で自民党が参院選で大敗し、日本社会党

ヤイパット等の電子機器によるネット社会へ変わりつつ、AI(人工知能)が搭載されたロボットが多種多様に制作され、福祉や軍事等々いろいろな分野での活躍が期待されています。

「平成」の名前の由来は、「史記」五帝本紀の「内平外成(内平かに外成る)」「書経」大禹謨の「地平天成(地平かに天成る)」からで、「国の内外、天地とも平和が達成される」という意味だそうです。5000日を切っています。平成時代、心も体も健康であり、平和な時を送れたらと切に思います。

今年一年が、皆様にとりまして素晴らしい年となります。心よりお祈り申し上げます。

☆古紙リサイクル活動
平成29年10月27日(金)

平成2年にはイラクがクウェートに侵攻し、湾岸戦争が始まりました。翌年平成3年1月に連合軍による空爆が始まり、その年12月にはソ連崩壊、平成5年には戦後初の政権交代がなされ、細川内閣が発足しました。ワイングラスで乾杯していた様子が印象深く残っています。平成9年には消費税の増税、山一證券・拓殖銀行が破綻し、平成13年小泉内閣が発足、アメリカ同時多発テロ事件が起こりました。平成20年にはリーマンショックが、平成21年には「コンクリートから人へ」の民主党が与党になったことにより、建設業界は冬の時代となり、平成23年には多くの犠牲者を出した東日本大震災が起こりました。

激動の「昭和」と言われますが、はたして「平成」はどのような言われ方をするのでしょうか?とても興味深いです。空白・迷走とか言う方もいますが、個人的には「下化された時代のように感じます。携帯電話から始まり、スマホフォ



組合倉庫に収集保管してありました古紙を業者に売却いたしました。平成6年から始めたこの活動は、以前は毎年行っていました。平成22年から2〜3年毎に1回の割合で行っています。今回は古紙(新聞・雑誌・段ボール・牛乳パック・雑み)2,790kg、アルミ缶51kgとなりました。過去のデータでは、平成14年が古紙62,250kg・アルミ缶は平成17年に165kgで最高値となっています。当初は組合役員の皆様や(ほとんども)四役が多かったと思えます。女性部役員の会社から2

た、「高原庄」さまからの依頼により、提供された赤・白・黄・桃様な色のチューリップの球根1000球を用意された40を越すプランターや植木鉢に、さらには花壇の周りや沿線沿いに植栽しました。

当日は、12名の参加者が4班に分かれての作業になりましたが、皆様とても手際がよく、予定よりも早めに作業を終えることが出来ました。初めて顔を合わせられた方も居りましたが、これを機会に会員同士の横のつながりが出来たことで、今後ますます親睦を深めていただけたらと期待をしています。

日頃、お世話になっております市民の皆様への感謝の気持ちから始めたこの活動は、「かりんの家」楓の丘に「しき」と続き第4段となりましたが、市内9カ所の特養を一巡するにはまだ5年掛かります。これまでに花の植替えを行いました施設からは、また是非お願いしたいとの声も届いています。今後継続して活動を行ってまいりたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆ボランティア活動
平成29年11月27日(月)

富士宮市貴戸にありませ特別養護老人ホーム「高原庄」を訪ね、パンジーやビオラ・シユリアン・ガーデンシクラメンなど花の苗と、「高原庄」さま側からリクエストがありました芝桜を含め350余りを組合で購入し植え付けました。ま

午後1時からの作業のため熱中対策として給水タイムを設け1時間ちよつとの作業でしたが、若者からパワーを頂き刺激を受け、参加者は少しだけ若返ったかも?知れません。



平成29年12月8日(金)
組合員の皆さまからお寄せいただきましたタオル350枚を富士宮市に寄贈致しました。当日は、小田剛男保健福祉部長と佐野俊寿福祉企画課長を交えて意見交換をしましたが、タオルの使い道は、お風呂はもとより拭きや災害時には包帯・枕と色々な使い方が出来るので、大変に重宝されるそうです。今回寄贈しましたタオルは、市内の施設に分配することでした。

平成29年6月23日(金)
11月29日(水)

県道414号線沿い富士宮北高付近の「植えま」事業の花苗(夏花・冬花)の植え替え作業に、それぞれ参加協力いたしました。夏花の植替えは、当初6月21日の予定でしたが、大雨警報が発令されるほどの悪天候のために延期になりました。急な変更にもかかわらず、9名の皆様の参加協力を得て、例年の様に、腐葉土や苦土石灰、肥料を混ぜて栄養たっぷりの土壌をまず作り、そこへ真っ赤な花を咲かせるサルビア312本・ペゴニア192本・ポチュラカ432本を植えました。今回は、いつもと違い支援学校の生徒さんが7名と少人数でしたので、組合からの参加者が大活躍されました。生徒さん達は、授業の一環として花の植替えを行っていき、あくまでも主体は生徒さんになります。段取りや作業手順を考慮の上、花植えの実践に入ります。時には方向修正をした方がよい場合もあります。が、助言をしながら生徒さんの意思を出るだけ尊重して共に汗を流します。



平成5年から始めたこの活動は、今年で25回目となりましたが、組合員の皆様からのご協力の賜物です。一人では微々たる力でも、皆さんの力を結集することで大きな力を発揮することが出来ます。今回ご協力いただいた皆様には心から感謝を申し上げますと共に、これからも引き続き活動を行っていきたく思いますので、ご協力をよろしくお願い致します。

た、「高原庄」さまからの依頼により、提供された赤・白・黄・桃様な色のチューリップの球根1000球を用意された40を越すプランターや植木鉢に、さらには花壇の周りや沿線沿いに植栽しました。

当日は、12名の参加者が4班に分かれての作業になりましたが、皆様とても手際がよく、予定よりも早めに作業を終えることが出来ました。初めて顔を合わせられた方も居りましたが、これを機会に会員同士の横のつながりが出来たことで、今後ますます親睦を深めていただけたらと期待をしています。

日頃、お世話になっております市民の皆様への感謝の気持ちから始めたこの活動は、「かりんの家」楓の丘に「しき」と続き第4段となりましたが、市内9カ所の特養を一巡するにはまだ5年掛かります。これまでに花の植替えを行いました施設からは、また是非お願いしたいとの声も届いています。今後継続して活動を行ってまいりたいと思っております。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

優良工事受賞者

国、静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2017年度に表彰された皆様を紹介します。

国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所長表彰
平成28年度富士砂防管内整備工事

佐野藤建設(株)

代表取締役 後藤 元光
現場代理人 竹川 金雄
主任技術者 竹川 金雄



関東森林管理局長表彰
北郷地区(角取山1)復旧治山工事

佐野藤建設(株)

代表取締役 後藤 元光
現場代理人 吉田 剛尉
主任技術者 世安 旭洋



公益社団法人静岡県山林協会長表彰
平成28年度治山(復旧)内野工事

佐野藤建設(株)

代表取締役 後藤 元光
現場代理人 後藤 頼隆
主任技術者 吉新 幸雄
担当技術者 世安 旭洋



富士土木事務所 優良技術者表彰
平成28年度(国)469号特定施設
関連道路整備事業工事(道路工)

永将建設(株)

代表取締役 永田 正二
現場代理人 森津 勇次
主任技術者 森津 勇次



富士宮市建設工事表彰 優秀賞
平成28年度富士宮市公共下水道事業第三工区

無双建設(株)

代表取締役 加藤 史郎
現場代理人 植松 秀明
主任技術者 植松 秀明



富士宮市建設工事表彰 優秀賞
平成27・28年度富士宮市宮万野住宅建設工事A棟工区
(建築工事)

(株)大石組

代表取締役 清 哲也
現場代理人 向田 泰隆
主任技術者 向田 泰隆
管理技術者 稲葉 英治



富士宮市建設工事表彰 優秀賞
平成28年度富士宮市立東小学校教室棟トイレ改修工事

(株)三与建設

代表取締役 三尾 祐一
現場代理人 加藤 秀明
主任技術者 加藤 秀明



富士宮市建設工事表彰 優良賞
平成28年度一般市道小泉25号線路肩整備工事

(株)井出恒組

代表取締役 井出 定雄
現場代理人 稲葉 修
主任技術者 増田 隆俊



富士宮建設業協同組合の 1年の活動

平成29年

第53回清掃運動

平成29年4月16日～19日

毎年4月に実施されております清掃運動が16日～19日まで市内全域で展開されました。

「環境美化の日」の16日には、市内1・21区、32、758世帯(24、908人)の市民が参加、地域の河川や道路の清掃に汗を流しました。

私達の組合からも清掃期間中、皆様の協力により、3日間、延26台のダンプが出動し、市中からた、土砂111台(108・33トン)、可燃物・不燃物81台(11・76トン)、不法投棄ゴミ20台(1・57トン) 合計212台(121・66トン)の搬出を行いました。組合員の皆様にご協力いただき、ありがとうございます。



道路愛護

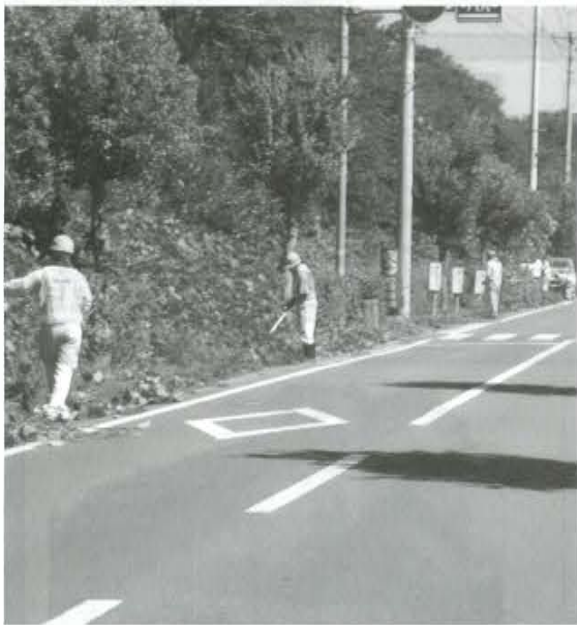
平成29年8月9日

8月は、道路愛護月間となっております。毎年この行事に参加しています。

昨年同様、外神東公園付近の一級市道押出長穴線・粟倉外神線沿いの枝の伐採、路肩の草刈り清掃等を

道路管理者、本組合員及び近隣事業所が参加し、実施いたしました。

本組合員からは10名が参加し、草刈り等に汗を流しました。参加された組合員の皆様、暑い中お疲れ様でした。



ボウリング大会

平成29年8月25日

「第19回ボウリング大会」を江戸屋ボウルで開催しました。総勢11チーム44人が参加し、熱戦が繰り広げられ、親睦を図りました。優勝チームは、(株)三与建設チームでした。次回も、大勢の組合員さんが参加されることを、楽しみにしています。(今回も、プーヒー・メーカー賞を設けました)



チーム別成績

団体優勝

(株)三与建設

1、241点

団体2位

(株)丸進建設A

1、174点

団体3位

(株)大石組

1、105点

個人成績

ハイゲーム賞

(株)鈴木組

鈴木統太

市防災訓練

平成29年9月1日

富士宮市総合防災訓練に参加し、防災無線を使用した情報伝達訓練及び富士宮建設業協同組合災害対策協力本部組織表第1班、第7班の班長・副班長により、市から被害調査の要請依頼があったことを想定し、各班における土石流危険区域・急傾斜地崩壊区域等のパトロールを実施いたしました。



ゴルフコンペ開催

平成29年8月29日

組合員の親睦を深めるためゴルフコンペを、朝霧カントリークラブにおいて10名の参加により開催しました。

優勝：

(株)三与建設 林 吉彦

準優勝：

(株)大石組 清 康彦

平成29年12月12日

今年度3回目の親睦ゴルフコンペを、富士宮ゴルフクラブにおいて9名の参加により開催いたしました。

優勝：

(株)小松建設 小松 實

準優勝：

(株)三与建設 林 吉彦

平成29年10月30日

組合員の親睦を深めるためゴルフコンペを、朝霧カントリークラブにおいて7名の参加により開催しました。

優勝：

(株)大石組 清 哲也

準優勝：

(株)三与建設 林 吉彦



道路のパトロール業務

平成29年9月11日、10月3日

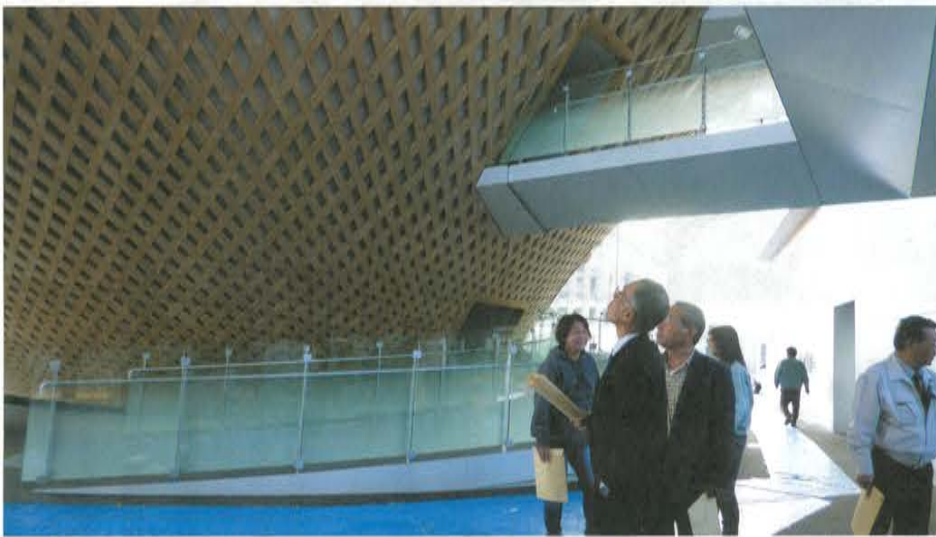
平成26年度に引き続き、平成27年度から平成29年度までの3年間、道路パトロール業務を市と契約し、市民の皆様の大変な道路を安心・安全のために、日々パトロールをし、迅速に路面を流しました。参考までに平成28年度の路面穴埋め 1、015箇所、路面剥離箇所補修 4、114箇所、側溝の清掃 71箇所、草刈除草 17か所、倒木・支障木切断片付け46路線となっています。



世界遺産センター施設研修

平成29年11月10日

世界遺産センターが10月に竣工したため、技術研鑽の一環として、小松理事長をはじめ13社の組合員の参加により、施設見学をいたしました。当日は、世界遺産センター開設準備室石川主査から詳しい説明を受け、参加組合員は熱心に聞き入り、説明終了後には質問もいたしました。短い時間ではありましたが、大変有意義な視察となりました。



富士宮建設業協同組合役員および組合員名

【役員】

相談役

株森下建設

森下孝一

理事長

株小松建設

小松 實

副理事長

株鈴木組

鈴木源士

理事

株河原崎建設

河原崎利光

監事

株井出恒組

井出定雄

株佐野藤建設

後藤元光

株坪井土建

坪井光雄

株丸丸建設

塩川 進

株三与建設

三尾祐一

株山本組

山本 篤

株渡邊建設

渡邊定賢

株坪井組

坪井孝文

株宮鉄建設

遠藤秋芳

株川俣組

佐野 孝

株河原崎建設

河原崎利光

株小松建設

小松 實

株齊藤建設

齊藤宗一

株佐野藤建設

後藤元光

株坪井土建

坪井光雄

株丸丸建設

塩川 進

株三与建設

三尾祐一

株山本組

山本 篤

株渡邊建設

渡邊定賢

株坪井組

坪井孝文

株宮鉄建設

遠藤秋芳

株光建業

佐野義光

株丸丸建設

塩川 進

株三与建設

三尾祐一

株山本組

山本 篤

株渡邊建設

渡邊定賢

株坪井組

坪井孝文

株宮鉄建設

遠藤秋芳

株寺原土木

寺原一美

株光建業

佐野義光

株丸丸建設

塩川 進

株三与建設

三尾祐一

株山本組

山本 篤

株渡邊建設

渡邊定賢

編集後記

事業・広報委員会

(有)渡邊建設 副委員長 渡邊定賢

今年も無事、富士宮建設業協同組合広報紙「建設ふじのみや」を発行する事が出来ました。多くの方が公私ともお忙しい中、寄稿していただき、今号も充実した紙面になりました。改めて寄稿して下さい皆様様に感謝するとともに僥越ですが事業・広報委員会を代表してお礼申し上げます。

ところで平成の世も今年で30年になりましたが、今上天皇陛下が諸々を考慮して天皇の座を生前退位したい旨を表明し、その意を受け平成31年4月11日(日)で平成の世が終わるという流れになったようです。平成という元号があと1年4か月で終わるといふ事実には少々戸惑いを感じながらも、次の元号は何になるのかという興味も尽きません。今年には色々と変化する年なのかもしれません。

そんな事を思いながら平成30年の干支について調べてみると今年には60通りの組合せのある十干十二支で戊戌(つちのえいぬ)になります。中国の古い思想の陰陽五行の考えでは十干や十二支のそれぞれには、木、火、土、金、水のどれかの性質を持ち、戊戌は両方とも「土」の性質を持っていて、意味は「万物を育成し保護する性質」、「季節の変わり目」になります。更に戌(つちのえ)は草木が繁盛して盛大になること、戌(いぬ)には草木が枯死することをそれぞれ表していて、土の性質が二つ組合せられていることで、その性質・意味がよりその勢が増し現れる年になるそうです。簡単に言えば良くなるに

しろ悪くなるにしろ今までは違うように変化する年が戌(つちのえいぬ)だそうす。振り返って60年前の戊戌の年、昭和33年がどんな年だったかと言えば、今上天皇陛下が皇太子のころ、初の民間出身の皇太子妃として正田美智子さんとご婚約を発表された年で、現在解体中の国立競技場と東京タワーが完成し、野球界では巨人の川上哲治が引退し長嶋茂雄が華々しくデビューした年です。また、いわゆる岩戸景気はこの年の下期から始まっています。この様に色々と世の中変化した年だったようです。

今年がどのような年になるかは分かりませんが、先に書いた元号の件など世の中の変化の兆しは、少なからず感じます。建設業界を取り巻く状況も少し前の八方ふさがりの頃と比べ変わりつつあるように感じます。変化の時代、組合各企業それぞれの奮闘努力は欠かせませんが、富士宮建設業協同組合が一致協力して力強く前進し、益々の発展と明るい未来を叶えるため今年も頑張りましょう。

組合員を募集しています!!
入会希望の方は左記迄。

ホームページ

富士宮建設業協同組合

<http://fujinomiyakensetsu.com/>

E-mail:miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp

皆様からのアクセスをお待ちしております

〒418-0005 富士宮市宮原470-5

TEL.0544-27-5526